

# はい！ ポーズ😊

12月生まれのみんな  
お誕生日おめでとう。



はやし こ ゆ き  
林 倅友姫ちゃん(左)  
H15.12.18生  
お兄ちゃん(歩叶くん・写真右)と遊ぶのが大好きな倅友姫です。二人ともいつまでも仲良く元気に育ってね。  
長島町永田中島  
林岳史さん・いづみさん



いとう つばさ  
伊藤 翼冴くん  
H15.12.24生  
お気に入りの音楽が流れると体を揺らして喜びます。よく笑いよく遊びます。元気に育ってね。  
東野北山  
伊藤隆史さん  
亜希子さん

お ち はやと  
越智 隼士くん  
H15.12.29生  
もうすぐ1歳になるね。おめでとう！元気にすくすくと大きくなってね。  
長島町中野  
雇用促進住宅長島第2  
越智洋一さん  
実千江さん



かわかみ あい つばさ  
川上 藍ちゃん(右) 翼くん(左) H14.12.13生  
女の子と男の子の双子です。おもちゃの取り合いで、けんかもよくするけど、お互いに良い遊び相手になっています。優しい子に育ってほしいな。  
武並町竹折陽光  
川上英也さん・裕子さん



このコーナーでは、1歳・2歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。1月に誕生日を迎えるお子さんの写真に住所(自治会)、氏名、生年月日、電話番号、両親の氏名と簡単なコメントを添えて、12月10日(月)までに申し込みください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。 □申し込み・問い合わせ 〒509-7292市役所秘書広報課広報係(内線311・古屋)



青年海外協力隊として  
2年間、ザンビアに派遣

みず の とも ゆき  
水 野 智 之 さん

岩村町富田6区・25歳

青年海外協力隊として今年の十二月から二年間、ザンビア共和国で稲作の普及に努めることになった水野智之さん。  
ザンビア共和国は、アフリカの大陸に位置する亜熱帯気候の国で、農業の主は乾季に行うトウモロコシ栽培で、あとは雨季に稲作が行われている。「土も環境も違うので、まず見てみないと分からない。回りの人に聞いて状況を知ることから始めたい」と、意欲を見せる。  
将来は人の役に立つ仕事に就きたい、海外に行きたいという希望を持つていた高校時代、社会の教科書で見た青年海外協力隊になろうと決心。大学は、卒業生が国際協力隊に参加する人も多い、東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科を選び、途上国での農業開発を学ぶなど、希望に向かって準備をしてきた。  
大学を卒業後は、岩村の実家で農業を手伝いながら協力隊の試験に向けて実践で学んでいた。そんな時、協力隊の先輩から、せっかく家で農業を体験したのだから、稲作で受け入れ「とアドバイスを受け、受験し見事合格。受かるまで何度も挑戦するつもりだったので、すごくうれしかったと笑顔で振り返る。またアフリカ行きを希望していた水野さんは、派遣先がザンビアに決まり二重の喜び



## 終わりではなく、通過点



▲出発のあいさつ後、森川市長職務執行者⑥、土方教育長⑦と一緒に

だった。  
農家を回ったり、研修会を開いたり、現地での活動は数多くある。「稲作の技術だけを教えるのではなく、一緒に頑張って働くという姿勢で臨みたい」と語り、「楽器が好きなので、向こうの民族楽器が習えたら」と、現地の人との触れ合いも楽しみにしている。  
「帰国後は、国際協力や農業普及など、協力隊での経験を生かせる仕事に就きたい」と新たな夢を抱く水野さん。「協力隊になったことが終わりではなく、一つのステップ」と語る。十二月六日のザンビアへの出発は、今までの夢を実現させるだけでなく、新たな夢への出発になるだろう。



全国へボの巣コンテストで準優勝  
伊藤 晴元 さん  
(明智町中切)  
昨年も明智町ではトップでしたが、今年は過去最高の成績。大きな巣にするためには良い女王バチを確保することが大切。来年はもう一つ上の成績を目指したいです。



山岡中学校の合唱に感動  
佐々木 真砂子 さん  
(山岡町釜屋)  
男の子が大きい声を出して、体全体を使って歌っている姿に感動しました。合唱に力を入れている学校なので、これからも頑張っていってほしいです。



アグリの五平もちに舌鼓  
木村 朱里 ちゃん  
美友 ちゃん  
(長島町永田桜台)  
五平もちおいしいね。安くて手ごろな値段で、手作りの五平もちや豚汁が食べれて、おいしかったです。(お母さんの早千江さん)



授業で企業実習を体験  
伊藤 桂祐 君  
(明智商業高校2年)  
ダンボール積みやスパイクタイヤのくぎ抜きは、見た目より重労働でキツかった。初めての仕事に携わり、親の日ごろの辛さが少し分かった気がしました。